

抗 GST 抗体, ウサギポリクローナル

商品コード	60-022
容量	100 µg
保存	-20 °C
濃度	1 mg/ml
バッファー	PBS- with 50% glycerol
純度	ウサギ抗血清から proteinA で精製した
抗原	リコンビナント GST (アミノ酸 No.1-212)
アイソタイプ	ウサギ IgG
反応性	GST および GST-tagged タンパク質
特記事項	N/A
アプリケーション	1. ウェスタンブロッティング (1/2,000 希釈) 2. 免疫沈降 3. ELISA その他の用途は試されてない。
背景	グルタチオン S-トランスフェラーゼ (GST) は融合タンパクの作成に広く用いられている。GST-タグは 220 アミノ酸 (約 26kDa) の大きさであり、種々のタンパク質の N-末端に融合させることができる。GST-融合タンパクは、大腸菌でリコンビナント・タンパクとして生成させ、目的のタンパクの精製や、検出に用いられる。GST 部はその基質であるグルタチオンに結合する。GST-融合タンパクは細胞抽出液からグルタチオン・レジンを用いたアフィニティ・クロマトグラフィにより容易に精製できる。 GST に対する抗体がウサギで作成された。
Data Link	GenBank AAA57089
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	

画像: 60-022 抗 GST 抗体、ウサギポリクローナル

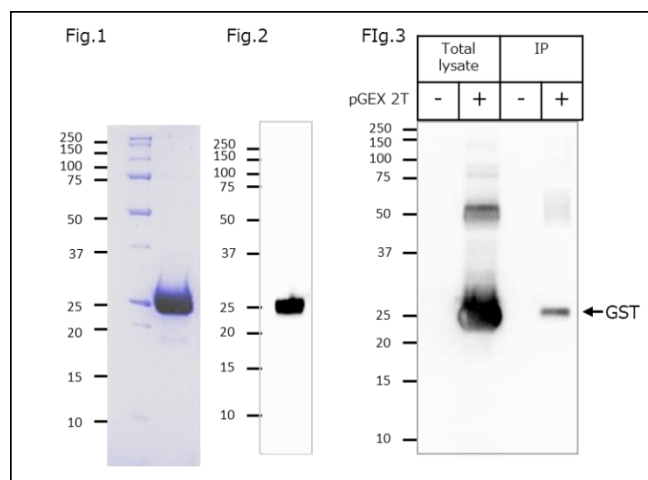


Fig.1 精製 GST 10µg の CBB 染色

Fig.2 精製した GST を #60-022 でウェスタンブロッティングにより検出。

アプライサンプル：0.1µg 精製 GST

1 次抗体；1µg/ml #60-022 抗 GST 抗体

Fig.3 免疫沈降

GST 高発現させた BL21(DE3)の全溶解物 (200µg) と、抗 GST ウサギポリクローナル抗体 (#60-022) 1µg を結合させた Protein A/G Dynabeads (カタログ番号 10001D および 10003D) を用いて GST を免疫沈降した。抗 GST ウサギポリクローナル抗体 (#60-022) 1µg/ml を用いてウェスタンブロット解析を実施し、化学発光法により検出した。

文献:

1. Smith DB & Johnson KS (1988) "Single-step purification of polypeptides expressed in *Escherichia coli* as fusions of glutathione-S-transferase." *Gene* **67**:31-40 PMID: [3047011](#)
2. Kaelin WG Jr *et al* (1991) "Identification of cellular proteins that can interact specifically with the T/E1A-binding region of the retinoblastoma gene product." *Cell* **64**:521-532 PMID: [1825028](#)
3. *Molecular Cloning: A laboratory Manual* (eds. Sambrook, J, Russell, D.W. Cold Spring Harbor Laboratory Press, Cold Spring Harbor, New York, USA, 2001) pp.15.36-15.39, pp.18.48-18.59.